



# Annual Report



Sustainable  
Support

一般社団法人サステイナブル・サポート  
2021年度 活動報告書



# 誰ひとり取り残さない支援を目指して

2015年10月に就労移行支援事業所『ノックス岐阜』が開所し、以後サステイナブル・サポートでは働きたいけど不安のある人へ就労支援を提供してきました。ノックス岐阜は発達障害・精神障害のある人を対象とした事業所で、これまで150名を超える人にご利用頂き、70名以上の方が企業へ就職していきました(A型・B型のぞく)。

しかし、中にはご相談に来られたけれど、さまざまな理由から利用に至らなかった人もいます。生活が苦しくて利用料が払えない、すぐに働く必要がある、(利用料が無料でも)交通費を捻出できない、障害の受容ができず障害者施設は利用したくない、等、障害者施設としての限界も感じてきました。

「働きたいけど不安」「一歩が踏み出せない」—そういう悩みを抱えた人が誰でも相談できて、サポートが受けられる仕組みが必要ではないでしょうか。相談先がわからず、せっかく勇気を出して相談に行っても「障害診断がなければ支援ができない」「すぐに就職できないのであれば、また働けるようになったら来てください」「障害があるなら福祉サービスを使ってください」等と言われたら、心が折れそうになるものです。

また、多様な生きづらさ・働きづらさを抱えた人の多くは、学校から社会への移行期につまずきを経験しています。学校まではなんとかあったけど、社会に出た途端に困り感が顕在化し、孤立する若者がいることをご存じでしょうか。いま、若年無業者は57万人(※1)、大卒就職率96%の裏で10人に1人が無業のまま社会に出ている実態があります(※2)。こうした若者を放置すれば、不安定就労や貧困、ひきこもり、精神疾患のリスクも高くなります。こうした課題を解決するためにサステイナブル・サポートでは、自ら「助けて」と言えない若者へアプローチし、問題が複雑化する前に彼らをサポートする『予防的支援』の仕組みづくりに取り組んでいます。

このようにサステイナブル・サポートでは、既存の福祉制度の枠にとらわれず柔軟な支援体制の実現に向けて動き出しています。しかし本当は、彼らが望んでいるのは「支援」ではなく「働く機会」です。そして、働くことを通して得られる収入、役割、自尊心。これからも私達は、誰ひとり取り残さない支援の仕組み作りと同時に、多様性が尊重され、働きたいと願う誰もが働ける社会の実現を願って試行錯誤で活動を続けていきたいと考えています。

※1 総務省 労働力調査(2021年)※2 文部科学省 令和3年度学校基本調査(2021年)



一般社団法人サステイナブル・サポート

代表理事 後藤千絵

# 目指す社会

## 誰もが自分らしく生きていける社会

**生きづらさを抱える人が自分らしい働き方や生き方の選択ができる支援をする**

働くことに障害のある人が、自分らしさを受け止め、また社会で働くことで自信を取り戻し、自分の人生を自分で選択できるようサポートする

**地域コミュニティのダイバーシティを促進する**

特性や障害をポジティブに受け止め、多様性に寛容な社会となる様、地域社会の障害への差別をなくし、「障害」という言葉のもつネガティブなイメージをアップデートする



### 福祉事業

就労移行支援事業所 ノックス岐阜  
就労定着支援事業所 ノックス岐阜  
就労継続支援B型事業所 アリー

### ダイバーシティ支援事業

キャリア支援プログラム キャリプロ  
ぎふキャリアステップセンター  
キャリアサポートスペース BA-SE  
etc.

# 就労移行支援事業・就労定着支援事業

(ノックス岐阜)

精神障害・発達障害のある方を対象に、就労に必要な知識や能力の向上のための訓練や実習、職場の定着支援などのサービスを提供します。



7年目を迎えたノックス岐阜は、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ビデオ会議システム「zoom」を利用したオンライン講義、担当スタッフとのオンライン面談を設け、利用者さんが通所・在宅を状況に応じて使いわけて参加できるようにしました。導入当初はスタッフ・利用者さん共に慣れない操作があり戸惑うこともありましたが、今では講義によって参加者の半分以上がオンライン参加になるなど、取り組みが浸透しつつあります。こうした取り組みも相まって、コロナ禍ではありますが、就労移行支援事業では2021年度、12名の利用者さんの就職先が決まり、定着率(就職後6か月間継続している方の割合)は、2年連続100%となりました。さらに、昨年度新規利用者数は過去最高の28名と、うれしい結果となりました。

就労定着支援事業(就職後の支援)では、2022年4月現在25名の方が利用されています。幸い、勤務時間が削減されたり、自宅待機になる方はみえませんが、定期的な面談を月に1回以上実施しました。職場の上司には話しにくいような日ごろの困りごとについて、ノックス岐阜のスタッフに相談ができた、また、ときには企業の上司を含めた三者面談も行います。ノックス岐阜を卒業し、就職した後も支援をサポートを受けられる体制が整っているため、一般就職された方のほぼ全員が、定着支援事業の利用を希望されます。

ノックス岐阜では、利用者さんが就労を希望する企業様に対してスタッフがアプローチし、企業見学・実習の機会を設けます。利用者さんは、正式応募前に現場を見学したり、業務を体験することで、本当にご自身にとって働きやすい場なのかを判断できます。また、企業側も実際に業務をしてもらうことで、入職した場合の合理的配慮などについて考えていただける機会となります。その結果、双方ともミスマッチが少なく、安心して就労ができます。また、就労後に出てくる困りごとに対してもスタッフが引き続きサポートできることが、ノックス岐阜の強みと感じています。今後も利用者さんのニーズを丁寧に聞き、自分らしく働ける職場を見つけられるよう、スタッフ全員で支援をしていきたいと思っています。



## ■2021年度 実績

就労移行支援 利用者数 44名

一般就職者数 12名

職場実習 経験者数 22名

就労定着支援 利用者数 31名

就労定着率 100%

**knocks**  
ノックス岐阜



## 就労継続支援B型事業

(アリー)

「大人の女性が通いやすい事業所」をコンセプトに、精神障害・発達障害のある方に、  
工賃作業を通して将来的な一般就労を目指すサポートをします。



2021年度、アリーは大きな変化の年でした。6月に土日祝日1組限定でご宿泊いただける【蔵のある町家の宿“帰蝶”】がオープンしました。アリー開所当時から計画されていた、「障害者施設が運営する宿泊施設」ですが、開所から半年で新型コロナウイルスの影響を受け、計画は一時中断していました。その後、Withコロナという新しい生活スタイルに合わせた運営を新たに計画し、帰蝶のオープンを目指しました。昨年2月から事業所の改装を始め、6月にオープンすることができました。改装・運営の費用はクラウドファンディングに挑戦し、264名の方から、4,895,000円のご寄付をいただきました。現在、帰蝶の稼働率は50%ほどですが、帰蝶のご宿泊料金は、経費を除いたすべてが利用者さんの報酬になっています。正直、アリーの新たな挑戦には、環境が変わる事への不安か、戸惑う利用者さんもいらっしゃいました。しかし、改装でアリーの利用者さんと壁に漆喰を塗るなどし、一緒に準備を進めていくことで、少しずつ変化の受け入れができ、期待が大きくなっていった様子でした。実際に宿泊の営業が始まってからは、清掃、ベッドメイキング、アメニティの準備などを作業として行っています。利用者さんが接客を行うことはありませんが、お客様が何人で、ご家族で泊まるのか、女性の方が泊まるのかなどお客様の情報をみんなで共有しながら、気持ちよく泊っていただけるように準備を行っています。帰蝶ができて工賃売上額も向上し、2020年度3月と比較すると、売上額は倍増しました。2022年3月時点では27名がアリーに登録されており、1日の平均通所人数は13~15名です。今年度は8名の利用者さんがアリーを卒業されました。就職した方、A型事業所に行かれた方、ご結婚された方など、進路は様々です。そして、2021年度は、13名の方が新たにアリーの仲間になりました。新しい環境、新しい作業、新しい仲間とアリーはどんどんと変化をしています。「大人の女性が安心して通える事業所」というアリーの思いを忘れずに、スタッフと利用者さんと一緒に、今後も成長していきたいと思えます。



### ■2021年度 実績

アリー 利用者数 34名  
工賃売上総額 2,189,667円  
自主事業売上総額 1,186,480円  
受注作業売上総額 1,003,187円  
一般就職者数 2名

アリー  
alley



## ダイバーシティ支援事業

コミュニケーションが苦手な若者や学生を対象に、居場所支援や相談支援、就職に向けたキャリア支援等を実施しています。



### キャリア支援プログラム キャリプロ

大学生や専門学校を対象とし、働くための準備や他者とのコミュニケーションなどを学んでいただくプログラムです。登録者数は8名、継続利用4名、新規利用4名、今年度の新規登録は全員学校からのご紹介です。セミナー形式の就職準備講座は年12回（オンライン2回含む）実施し、のべ53名の参加、サークル形式のコミュニケーションプログラムは対面にて年9回実施し、のべ30名の参加でした。卒業年度の学生は6名、全員が就職や就労移行支援など次を決めることができ、孤立化を予防できました。



### キャリアサポートスペース BA-SE

大学等高等教育を卒業もしくは中退後、所属を失った若者が自由に利用できるサードプレイスを開設し、提供しました。支援員との会話や面談だけでなく、リラックスできる空間として自由に活用できます。その他、ミニ講座の開催、ボランティア機会の提供など交流機会をもてるプログラムも実施しました。登録者数は15名、継続的な利用は12名です。年間78回オープンし、のべ利用者数は216名です。うち32回ミニ講座を実施しのべ80名の参加、ボランティアにはのべ30名が参加してくれました。



### ぎふキャリアステップセンター

18歳～35歳程度の若者を対象に、キャリアサポートを行う就業支援拠点です。ケア付きアルバイトを入口に、就活支援プログラムや、地元企業でのインターンシップを通じて、一人ひとりに合った働き方を見つけることをサポートしました。登録者数10名、就職決定1名、企業インターンシップ利用者2名、働く準備講座利用者3名、個別面談の実施回数は35回でした。登録者10名中、学生の登録者が6名、うち卒業年度での利用が3名おり、就職活動において丁寧なサポートが必要な若者がいることがわかりました。

キャリアプロ



キャリアサポートスペース  
BA-SE  
ベース



ぎふ  
キャリア  
Gifu Career Step Center



### キャッシュ・フォー・ワーク

【新型コロナウイルスの影響で失業・減収した若者をSSが雇用し、自身のスキルアップをしつつ、地域の役に立つ仕事をする】という活動を、

2020年度に引き続き行いました。8名の若者を雇用し、就業や訓練を経て、次の道へとつなぐことができました。



### あんしんつながりステーション

岐阜市から委託を受け、コロナ禍で日常生活や働くことに困りごとを抱える女性を支援する「あんしんつながりステーション」を開き、生活用品

の無料提供や、生活・就職に関するご相談に乗る活動を行いました。のべ約140名の方に支援を提供できました。

## その他法人活動

### 職員研修



サステイナブル・サポートでは、職員の支援技術、業務関連知識、周辺領域知識などを向上させ、日々の支援に活かすことを目的に、毎月職員研修を行っています。2021年度は、公益財団法人日本社会福祉弘済会様より助成金をいただき、12回の研修を行いました。傾聴トレーニング、アセスメントについて、性の多様性、ヤングケアラーなど、様々なテーマを学びました。1月には「薬物・アルコール依存症からのリカバリー」と題した公開研修を開催し、地域の支援機関の方々にもご参加いただきました。

### 組織基盤強化



サステイナブル・サポートは、2021年7月に設立6周年を迎え、2022年は7年目となります。2021年度は、一つの節目として、「組織基盤強化」の取り組みを始めました。こちらは、パナソニック株式会社より助成金をいただき、活動しております。2021年度は特に「組織診断」の年度とし、組織を運営するうえでのSSの強みや弱み、現状の課題などを一年かけて分析する取り組みを行いました。事業が増え、職員が増え、組織として過度期にあたる現在。組織基盤強化の取組みを経て、「誰もが自分らしく生きられる社会」を目指す組織としてさらに成長していきたいと考えています。

### 啓発・アドボカシー



毎年4月2日は、国連が定める「世界自閉症啓発デー」です。サステイナブル・サポートでは、毎年職員が啓発カラーである「ブルー」を身にまといまいます。2021年度も同様の取組みを行い、また、各SNSでの発信を通じて啓発を行いました。また、ダイバーシティ支援事業の一環として、「大卒無業者を孤立させない！プロジェクト」を発足し、アドボカシー活動を開始しました。当取り組みは、今後厚労省への意見書の提出や記者会見などを予定しています。

#### 一般社団法人サステイナブル・サポート

代表理事 後藤千絵

理事 宇野眞 山崎恵美子

監事 宮本聡

顧問税理士 後藤和重

職員 生田圭美 前田泰博 水野由利子 高井時夫 徳永百合名 左合栞

村瀬慎二 岡島絵美 加藤真由美 三ツ口和美 高木寿嘉 渡辺眞子

加藤豊子 三石裕美 吉村友貴 柘植麻奈美 工藤礼奈 松田めぐみ

小椋祐司 鈴木由美 藤吉澄代 橋本華子 高木夕子 ※2021年度に在籍した職員

## 取材・広報活動

### 2021年度 取材一覧

4月10日	中日新聞
4月16日	岐阜新聞
4月18日	読売新聞
4月19日	CCN
4月20日	NHKニュース
4月22日	月刊ぶらぎ
4月24日	朝日新聞
6月11日	メーテレ アップ☆
8月26日	中日新聞
9月9日	NHKまるっと！ぎふ
10月23日	ぎふしWatcher
11月1日	岐阜市Style
11月6日	ゆめのたね放送局
12月12日	Re:touch
3月9日	岐阜新聞
3月24日	岐阜放送チャリティスペシャル2022

### 2021年度 広報活動一覧

4月30日	SS Journal Vol.59 発行
6月30日	SS Journal Vol.60 発行
8月31日	SS Journal Vol.61 発行
10月31日	SS Journal Vol.62 発行
12月31日	SS Journal Vol.63 発行
2月28日	SS Journal Vol.64 発行



## パートナー企業

順不同/敬称略

安田建設工業株式会社

三承工業株式会社

西濃印刷株式会社

NPO法人ORGAN

いかわクリニック

株式会社ユナイテッド・ユニーク

株式会社サン・テンポラリー

株式会社GA設計事務所

合同会社STAPLE

SPADA

サンメッセ総合研究所

SANEI株式会社

特定非営利活動法人 piece for you

株式会社みーおん

岐阜Cippo

株式会社チューキョーP&G



〒500-8175 岐阜市長住町2-7 アーバンフロントビル3階

代表TEL:058-216-0520

代表Mail:info@sus-sup.org

一般社団法人サステイナブル・サポート

2021年度 活動報告書 (第7期)

発行月:2022年5月

発行人:後藤千絵

制作:徳永百合名

